

令和 4 年 高年齢労働者の労働災害発生状況

令和 5 年 5 月 23 日

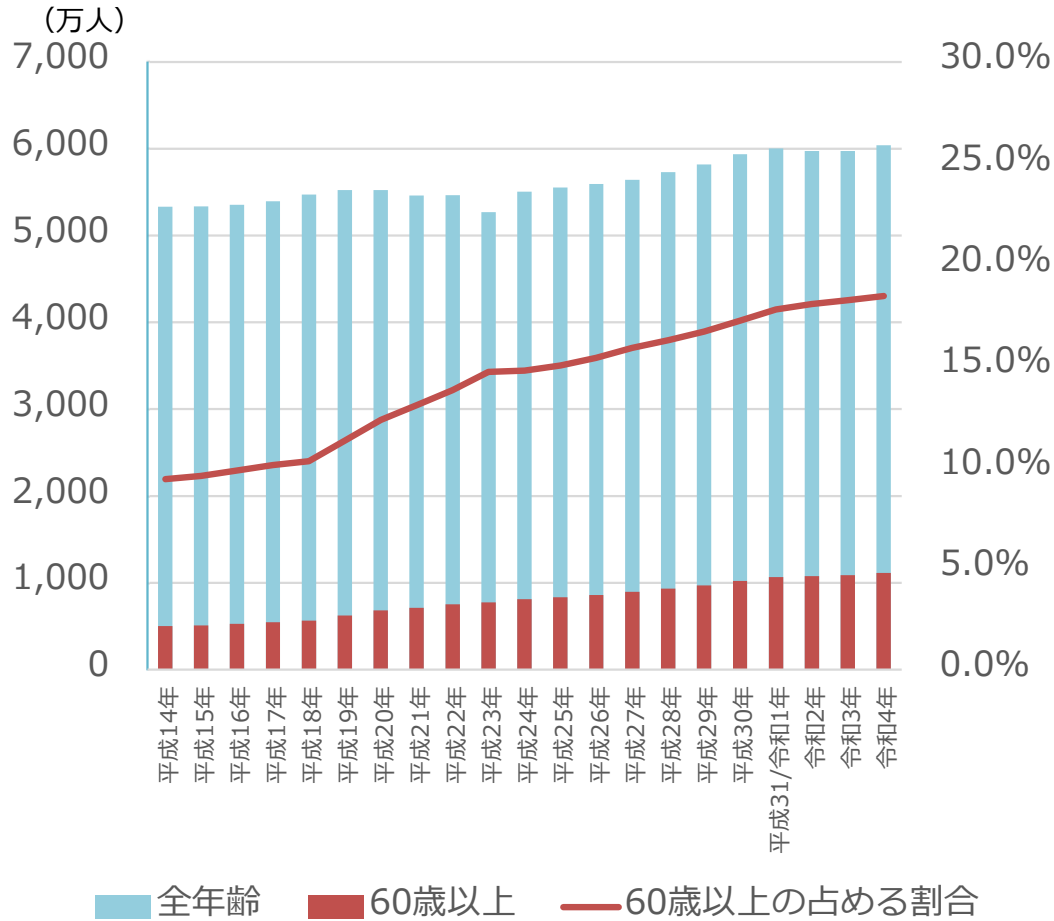
厚生労働省労働基準局

安全衛生部安全課

高齢者の就労と被災状況

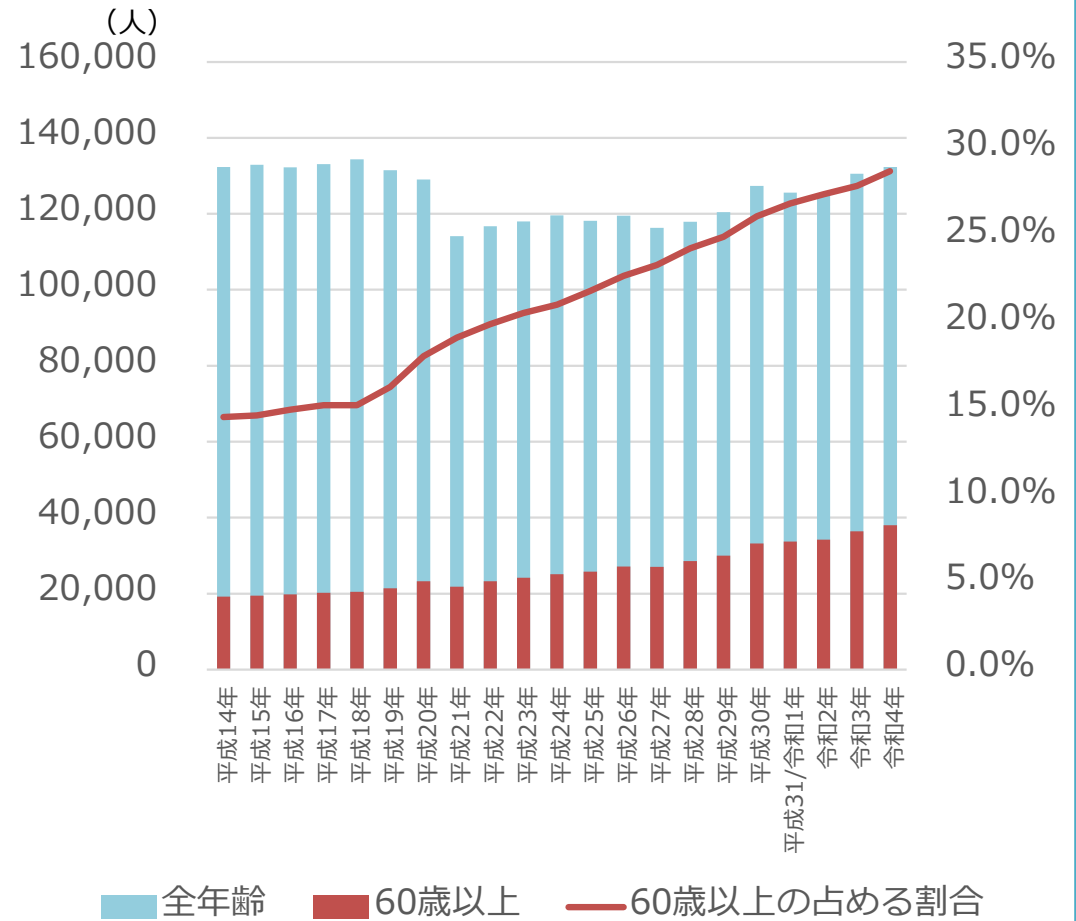
雇用者

全年齢に占める60歳以上の占める割合



労働災害による死傷者数

全年齢に占める60歳以上の占める割合



データ出所：労働力調査（総務省）（年齢階級，産業別雇用者数）における年齢別雇用者数（役員を含む。）
 ※平成23年は東日本大震災の影響により被災3県を除く全国の結果となっている。

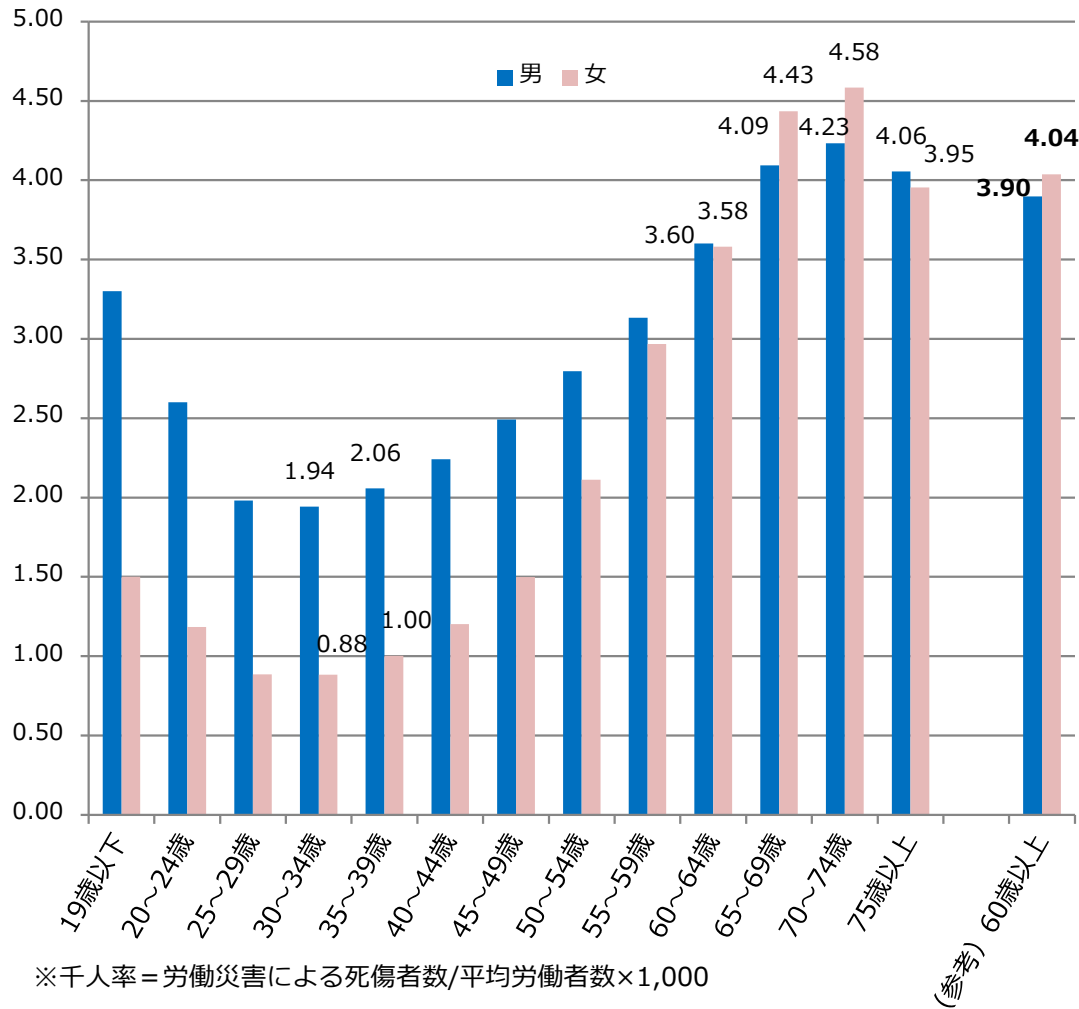
データ出所：労働者死傷病報告※新型コロナウイルス感染症へのり患によるものを除く

- ◆ 雇用者全体に占める60歳以上の高齢者の占める割合は18.4%(令和4年)
- ◆ 労働災害による休業4日以上の死傷者数に占める60歳以上の高齢者の占める割合は28.7%(同)

高年齢労働者の労働災害の特徴① 災害発生率（千人率）・休業見込み期間

- ・60歳以上の男女別の労働災害発生率（死傷年千人率（以下「千人率」という。））を30代と比較すると、男性は約2倍、女性は約4倍となっている。
- ・休業見込み期間は、年齢が上がるにしたがって長期間となっている。

年齢別・男女別 千人率

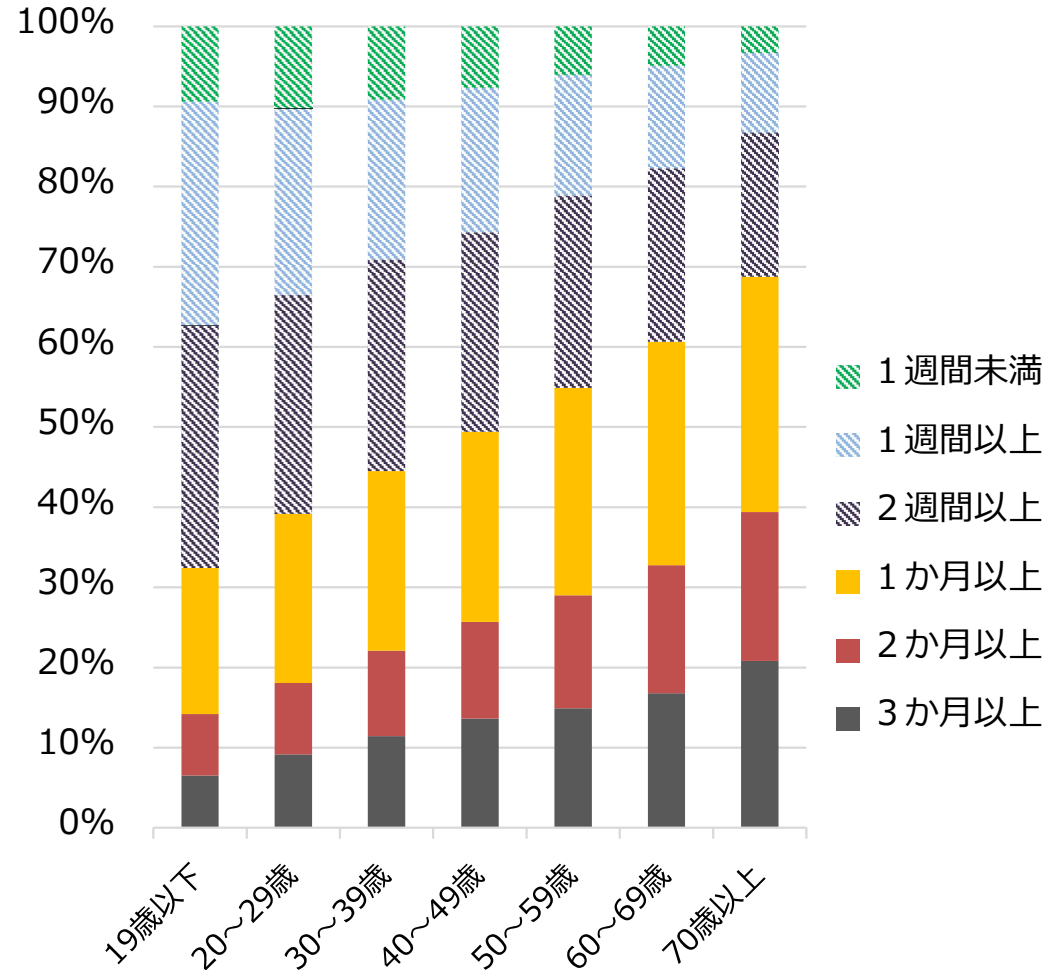


※千人率 = 労働災害による死傷者数 / 平均労働者数 × 1,000

データ出所：労働者死傷病報告（令和4年）

※新型コロナウイルス感染症へのり患によるものを除く
労働力調査（年次・2022年・基本集計第I-2表 役員を除く雇用者）

年齢別の休業見込み期間の長さ



データ出所：労働者死傷病報告（令和4年）

※新型コロナウイルス感染症へのり患によるものを除く
※死亡災害は、休業3か月以上に算入

高年齢労働者の労働災害の特徴② 年齢別・男女別の傾向（事故の型別の分析）

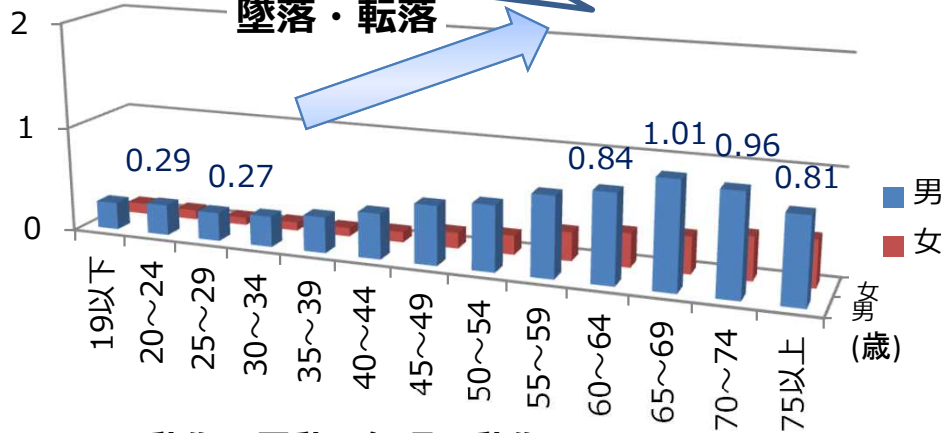
・転倒は、高年齢になるほど労働災害発生率が上昇。高齢女性の転倒災害発生率は特に高い。

⇒ 年齢の上昇に着目した対策は転倒、墜落・転落で特に重要な課題（とりわけ高齢女性の転倒防止）

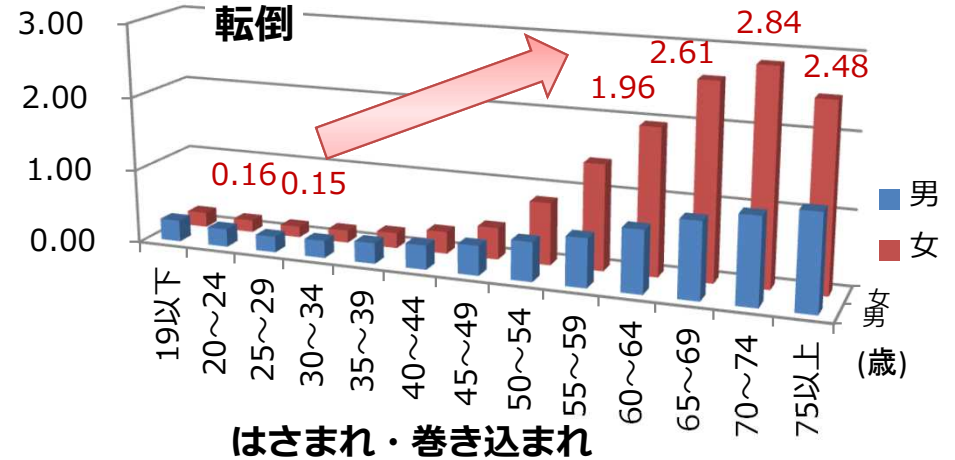
男性の場合、60代以上（平均0.91）は20代平均（0.28）の約3倍

女性の場合、60代以上（平均2.35）は20代（平均0.15）の約15倍

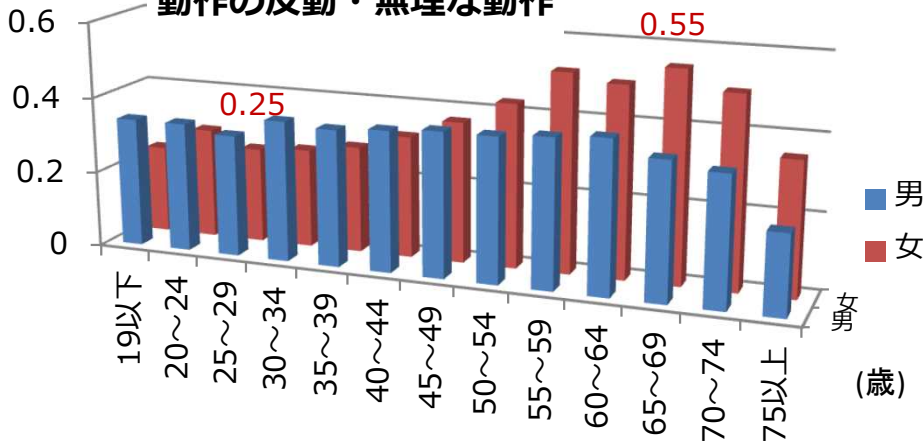
墜落・転落



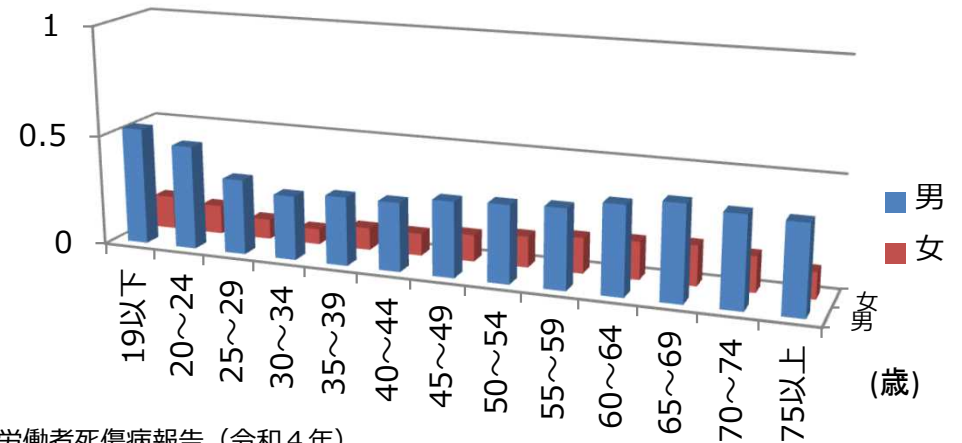
転倒



動作の反動・無理な動作



はさまれ・巻き込まれ



※千人率 = 労働災害による死傷者数 / その年の平均労働者数 × 1,000

データ出所：労働者死傷病報告（令和4年）

※ 新型コロナウイルス感染症へのり患によるものを除く

：労働力調査（年次・2022年・基本集計第I-2表 役員を除く雇用者）